

幼小中一貫教育研究だより

Vol. 1

幼小中一貫教育をより発展させるために、**レジリエンスの育成をめざした**取組をしています。

本年度研究テーマ

(附属三原小学校 教諭) 梅野栄治

レジリエンスの育成をめざす幼小中一貫教育カリキュラムの研究
—「対話」を核とした保育・授業モデルの開発と運用—

「光輝(かがやき)」で培った資質・能力

これまで8年間、研究を重ねてきた「光輝(かがやき)」「光輝(かがやき)視点の保育」。子供一人一人の光輝くところを見つめて伸ばす研究をしてきました。この研究のよさは、幼小中の12年間を通して、同じ枠組み(表1参照)で教員が子供達の成長を促し見取ってきたことにあります。

表1 3つの次元(枠組み)と7つの資質・能力

3つの次元	構成する資質・能力
躍動する感性	・人間味溢れる豊かな感覚 ・自ら学ぶ姿勢
レジリエンス	・粘り強く取り組む力 ・コラボレーションする力 ・複眼的に思考する力
横断的な知識	・知識と知識を関連付けながら深く追究する力 ・論理的に問題を解決する力

めまぐるしく変化する社会に対応できるように、教員は、常に子供達の姿を3つの次元(枠組み)で見取りながら、変化の激しいグローバル社会を生き抜くための7つの資質・能力を伸ばそうと様々な教育活動を設定してきました。

実際の活動の中では、様々な感情を含む人間らしい豊かな感覚を大切にしながら、自ら学ぶ姿勢を身につけていくことを重視してきました。また、目的をもって他者と協働しながら複眼的な立場で物事を捉え、粘り強く取り組む力を育むことを意識してきました。その過程で、学んだことを関連付け、論理的に学びをつなげて問題を解決していく力を付けられるように活動を工夫してきました。



広島大学附属幼稚園(三原園舎)
広島大学附属三原小学校・中学校
〒723-0004 広島県三原市館町二丁目6番1号
HP:https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_mihara

HPも
今すぐ
チェック!



「レジリエンス」に焦点を当てて

これまでの研究で、本学校園の子供達の資質・能力にかかわる課題として、特に「レジリエンス」に対する課題が見えてきました。例えば、粘り強く取り組む力が弱いこと、自分の思いと相手の思いに違いがあるときに人とかかわる難しさがあることなどです。そこで一昨年度からは、3つの次元の中でも「レジリエンス」の育成に焦点を当てて、研究を進めています。

「対話」を核とした 保育・教科モデルの開発と運用

今年度は、「レジリエンス」の育成に向けて「対話」を手立てとして研究に取り組みます。「対話」を核にした授業モデルの開発において、対話活動の充実に向けた四要素を以下のように設定しました。

- (1) 技能的要素：聞く力や話す力、応じる力など
- (2) 認知的要素：相手の言葉の要点を理解したり、話し合いの視点を共有するなど
- (3) 情意的要素：他人の考えに耳を傾けることや相手を思いやって自分の主張を行うなど
- (4) 環境的要素：安心感を感じる雰囲気、失敗を肯定的に捉える雰囲気

これらの四要素をふまえながら、「対話」を核とした保育・授業モデルを開発しました。
運用に当たっては、次の2点に留意します。

- ①「対話」の目的やその機会を設定し、発達段階や単元に応じて、「対話」の相手や場面を調整した保育・授業の構想、計画、準備。
- ②上記四要素を視点として、子供の様子を見取り、保育・授業を振り返る中で、援助・指導の改善。

今後の指導の中で、子供たちが仲間と協働して対話を維持・発展させ、思考を深めたり、新たな考えを生み出す、そのような姿を目指してまいります。

アンケート
にご協力
ください



裏面へ

研究だより（カラー版）

幼小中一貫教育研究だよりをご覧いただきありがとうございます。
学校園ホームページから、カラー版を閲覧できます。
よろしければぜひご覧ください。



学校園ホームページ「幼小中一貫教育研究だより」URL
https://www.hiroshima-u.ac.jp/fu_mihara/R8kenkyudayorii

研究だよりの アンケートにご協力ください

幼小中一貫教育研究だよりをご覧いただきありがとうございます。
子どもたちのよりよい学びにつなげるため、こちらのアンケートにご協力をお願いいたします。



アンケートフォームURL
<https://forms.cloud.microsoft/r/Uu8Dgwwwv7Y>